

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																		
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																		
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 判断			4. 態度・志向性									
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3							
19JPWC1071	英語会話Ⅰ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	英語の基本的な文法事項などを復習し、コミュニケーション活動を通して基本的な会話が英語でできるようになることを目標とする。				◎															
19JPWC1081	英語会話Ⅱ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	「英語会話Ⅰ」で身につけた基本的会話表現・スキルを応用し、さまざまな状況で英語による意思伝達ができるようになることを目標とする。				◎															
19JPWC1091	情報リテラシー	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	1. 本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 2. 基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 3. レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。							○										◎		
19JPWC2013	専門演習	2	学業の最終的な仕上げとして、研究成果物をまとめる。	テーマを設定して研究を行い、その成果をプレゼンテーションにより他者に伝えることができる。	◎	◎	◎	◎	◎			○	◎										◎
19JPWC1103	心理学概論A	1	「行動の科学」としての心理学の基本的な考え方と方法論の理解を第一の目標とする。また、心理学の諸領域で学ぶ総論的な知識を、心の成長・発達や日常生活の身近な出来事と関連させて理解することにより、対人援助の科学としての人間科学の一翼を担う心理学についての理解を深化させる。	心理学の諸領域について、その基本的な概念・考え方を理解している。								◎											
19JPWC1113	心理学概論B	1	発達心理学および臨床心理学を中心に心理学の基礎を学ぶ。また、心理学が活用されている領域について知る。そして、それぞれの領域の心理学の活用方法などを理解する。	1. 心理学の基礎知識を踏まえて、心理学の特徴を理解できる。 2. 各領域での基礎知識に基づいて、個人や集団へのアプローチを理解できる。	◎										○		○	○					○
19JPWC1123	対人関係の心理学	1	私たちの日々の人間関係の重要な部分を構成する人と人との関わりに関する心理学的メカニズムを学ぶ。	人類の繁栄の礎となった「人間関係の設計図」について理解し、その理解を基に、社会に貢献できる人間としての志を獲得する。	◎							○	○	○			○						○
19JPWC2023	こども心理学	2	発達心理学の基礎的な概念・用語と、胎児期から青年期までの発達の概要について理解する。	1. 胎児期から青年期までの発達の概要がイメージできる。 2. 自分のこれまでの発達の理解に知識を活用することができる。	◎												○	○					
19JPWC1133	臨床心理学	1	臨床心理学の基本的な理論や実践について学ぶ。	自分自身の「心」への理解を深め、また「こころ」に問題を抱える人々への理解や援助についての基礎知識を身につけることを目標とする。臨床心理学を学ぶことを通して、「心」の奥深さを知り、人間性が涵養されることも期待している。	◎													○					
19JPWC1143	カウンセリング心理学	1	カウンセリングの意義や対人援助の原則について理解を深め、概要や基礎について学ぶことを目的とする。	各自がカウンセリングについて理解し、自他のこころに思いをめぐらせることができるようにすることを目標とする。	◎													○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																	
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																	
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3		
19JPWC2083	プロジェクトマネジメントの実践	2	プロジェクトマネジメントを通して、計画の重要性や問題解決の方法を体験的に学び、自ら考え抜く力を身につける。また、コミュニケーションやチームワークの重要性を認識し、自らチームメンバとして参画することで人々と関わりあって物事を進めることの楽しさや効率の良さを学びとる。	この講義を通して以下の知識や能力を習得し、社会で十分に発揮できることを目標とする。 (1) プロジェクトマネジメントに関する知識の理解 (2) プロジェクトマネジメント手法の理解 (3) 実現可能性が信じられるゴールを設定し、それに向けた道筋を明確にして実行する。 (4) なぜを繰り返すことで自ら考え抜くことができる。 (5) ファシリテーション技術を習得する。 (6) コミュニケーションマネジメント（傾聴他） (7) チームを理解し、チームメンバとして能力を発揮する。 (8) プロジェクトを進める上で考えるべき、品質、コスト、工程、環境等多様な情報に基づき問題を解決することができる。									◎	◎	◎	○	○	○				
19JPWC2093	現代社会と福祉	2	現代社会における福祉制度の意義、福祉政策、ニーズと社会資源、相談援助活動との関係など、社会福祉についての理念、価値を理解する。	社会福祉の理念や価値を理解して行動できるようになる。									◎							◎		
19JPWC2103	こども家庭福祉	2	現代社会において、こどもを取り巻く環境が厳しくなっており種々の事柄が社会問題となっている。こどもを取り巻く社会を理解し、こどもや家庭への支援について考える。	理解に基づいて、活動できる基本的な知識を身につける。									◎							○		
19JPWC2113	介護とリハビリテーション	2	1. 介護とリハビリテーションの概念について理解する。 2. 介護職に必要な職業倫理、専門知識について理解する。 3. 介護の技法（生活支援技術）について理解する。	1. 介護の概念や対象を理解し説明することができる。 2. 介護予防とリハビリテーションの基本的な考え方を理解し説明することができる。 3. 介護の技法（生活支援技術）の基本を理解し説明することができる。 4. 認知症ケアおよび終末期ケアについて理解し説明することができる。									◎			○				○		
19JPWC2123	家族の心理と福祉	2	私たちはみな、家族という最初の社会化の場で生活し、様々なことを学んでいる。しかし、時代の移り変わりとともに家族形態も変化し、家族の役割も変化してきている。変化する家族機能の背景を理解し、家族の中で生活するその時々課題について心理・福祉的アプローチを考える。	1. 家族の機能と役割を踏まえ、家族が成長する時々に生じる課題と解決策について考える。 2. 多様化する家族観の理解に努め、柔軟な思考を醸成することができる。									◎	◎				○	○	○	○	
19JPWC2133	女性と法律	2	これからの社会を生きるにあたり大切となる法律について、その基本的知識、考え方、社会的背景について理解を深める。現代の女性が置かれている状況を具体的事例に即して考察し、その中で法律の役割、課題を考える。	以下のような素養・能力を身につけることを到達目標としている。 (1) 就職や結婚、相続など、人生の節目における法的なポイントに関する知識・理解力 (2) トラブルに遭遇した時に法的な解決策を見出すための知識、論理的思考力 (3) 法律を通して現代社会の課題を見出す探究心 (4) 法律を担う市民としての社会的責任感													○	◎	◎	○	○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																								
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 思考・判断			4. 態度・志向性															
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3													
19JPWC1203	オフィスワークの英語 I	1	社内の公用語を「英語」とする日本企業があらわれ、会社の規模にかかわらずグローバル化をすすめる会社が増えている。もはや英語は一部の部署のみで必要とされる特殊能力ではない。そんな社会で今後活躍が期待される受講生が「英語力」で不利益を被ることがないようビジネスに必要な基礎力を身につけることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 英語で自己アピールできる。 2. 短大で学んでいる内容について英語で簡潔に説明できる。 3. 部署名を英語で理解できる。 4. 基本的な電話応対ができる。 5. ビジネスレターのフォーマットが理解できる。 												◎	○	○				○	○	○					
19JPWC2173	オフィスワークの英語 II	2	社会人としてオフィスで通用する英語力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 1. ビジネスシーンで初対面の相手にスマートに自己紹介できる。 2. 電話応対がスムーズにできる。 3. ビジネスレターを読んで大枠を理解することができる。 													◎	○	○				○	○	○				
19JPWC1213	オフィスワークの会話表現	1	社会で必要なビジネスシーンでの会話表現(日本語)を学習する。職場のルールや仕事の進め方を知り、適切な応対ができる人材を育てることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 適切な敬語表現を用いることができる。 2. 適切な電話応対ができる。 3. スマートな名刺交換の実践。 4. メールなどネット上のマナーを身につける。 5. 冠婚葬祭に対応できる力を身につける。 													◎	○	○				○	○	○				
19JPWC2183	オフィスワークの情報処理	2	情報技術の中でも、文章作成や表計算は実用性・応用性が高いことから、社会人として身につけるべき必須能力といっても過言ではない。本授業の目的は、ビジネス場面において多く用いられる文章作成や表計算の学習を通じて、一般的な社会人に要求される文章作成能力および表計算能力を身につけることである。	一般的な社会人に要求される文章作成能力および表計算能力を身につける。																					○	◎			○